



2021年2月12日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野村 博
 (コード: 4506 東証第1部)
 問合せ先 執行役員
 コーポレートコミュニケーション担当 樋口 敦子
 (大阪: TEL. 06-6203-1407)
 (東京: TEL. 03-5159-3300)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向および2021年2月9日に開示したナパブカシンの結腸直腸がんを対象としたフェーズ3試験の結果等を踏まえ、2020年10月28日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当 り当期利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	506,000	47,000	58,000	21,000	42,000	105.71
今回修正予想(B)	515,000	63,000	49,000	9,000	27,000	67.96
増減額(B-A)	9,000	16,000	△9,000	△12,000	△15,000	—
増減率(%)	1.8	34.0	△15.5	△57.1	△35.7	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	482,732	71,982	83,239	35,918	40,753	102.58

(注)コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

2. 修正の理由

売上収益は、円高による減収要因はあるものの、北米セグメントで非定型抗精神病薬「ラツーダ」の売上が好調に推移していることから、前回発表予想から90億円増の5,150億円に修正しました。

売上収益の増加に伴い、売上総利益が増加することに加え、円高などにより販売費及び一般管理費並びに研究開発費の減少を見込むことから、コア営業利益は、前回発表予想から160億円増の630億円に修正しました。

営業利益は、ナパブカシンの結腸直腸がんを対象としたフェーズ3試験の解析結果において主要評価項目を達成しなかったことに加え、急性骨髄性白血病などを対象に開発中のalvocidibおよび固形がんを対象に開発中のTP-0903の事業性を見直したことにより、条件付対価公正価値変動額の費用の戻入および減損損失の計上などを見込むことから、前回発表予想から90億円減の490億円に修正しました。

また、金融費用において、為替差損の発生を見込むことから、当期利益は前回発表予想から 120 億円減の 90 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、非支配持分損失が減少することから前回発表予想から 150 億円減の 270 億円に修正しました。

今回修正予想においては、通期の想定為替レート(期中平均為替レート)を前回発表予想の 1ドル 108.0 円から 106.0 円に見直しています。

業績予想修正の詳細は添付の参考資料をご参照ください。

(注) 本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、業績・その他の将来の予測等に関する事項は、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。

以上

金額単位：億円

	2020年度 10/28予想	2020年度 修正予想	増減額	うち為替 影響
売上収益	5,060	5,150	90	△54
売上原価	1,410	1,385	△25	△22
売上総利益	3,650	3,765	115	△32
販売費及び一般管理費	2,150	2,125	△25	△26
研究開発費	1,030	1,010	△20	△14
コア営業利益	470	630	160	8
条件付対価公正価値の変動額 (△:損)	△40	260	300	
その他の非経常項目 (△:損)	150	△400	△550	
営業利益	580	490	△90	
法人所得税	360	340	△20	
当期利益	210	90	△120	
親会社の所有者に帰属する当期利益	420	270	△150	
ROE (%)	7.7	5.2		
ROIC (%)	1.2	3.1		

3Qの状況、今後の見通しから通期予想を修正

- **売上収益**：北米セグメント中心に増額修正(+90億円)
 - ・サノビオン増額修正 (+87)
 - ・スミトバント増額修正 (+24) ファイザー社との提携対価の一部とオルゴピクスの売上を織り込み
- **販管費、研究開発費**：3Qまでの進捗状況と為替前提の変更により減額修正
- ナパバカシンの結腸直腸がんを対象としたフェーズ3試験の結果に加え、alvocidibおよびTP-0903の事業性を見直した結果、**条件付対価公正価値の変動額の費用の戻入 (260億円) および仕掛研究開発の減損損失等 (550億円) の計上を見込む**
- **為替レート**：円高の進行により為替前提を変更

【為替レート】
 2020年度従来予想： 1\$ =108.0円 1元=15.5円
 2020年度修正予想： 1\$ =106.0円 1元=15.5円

金額単位：億円

	医薬品事業					合計	その他	連結
	日本	北米	中国	海外その他				
2020年度 修正予想	売上収益 (外部顧客向け)	1,512	2,832	273	173	4,790	360	5,150
	売上原価	774	228	53	55	1,110	275	1,385
	売上総利益	738	2,604	220	118	3,680	85	3,765
	販売費及び一般管理費	510	1,444	88	28	2,070	55	2,125
	コアセグメント利益	228	1,160	132	90	1,610	30	1,640
	研究開発費					1,000	10	1,010
	コア営業利益					610	20	630
12月28日 年度予想	売上収益 (外部顧客向け)	1,533	2,721	277	169	4,700	360	5,060
	売上原価	791	239	54	51	1,135	275	1,410
	売上総利益	742	2,482	223	118	3,565	85	3,650
	販売費及び一般管理費	520	1,461	85	29	2,095	55	2,150
	コアセグメント利益	222	1,021	138	89	1,470	30	1,500
	研究開発費					1,020	10	1,030
	コア営業利益					450	20	470
増減額	売上収益 (外部顧客向け)	△21	111	△4	4	90	—	90
	販売費及び一般管理費	△10	△17	3	△1	△25	—	△25
	コアセグメント利益	6	139	△6	1	140	—	140
	研究開発費					△20	—	△20
	コア営業利益					160	—	160

- **日本セグメント**：トルリシティ(△28億円)、ロナセンテープ(△13)など売上を下方修正。販管費はさらに減少を見込むため減収増益
- **北米セグメント**：為替前提変更によるマイナス影響はあるが、ラソーダ (+91) など売上を上方修正。販管費の減少を織り込み、増益修正
- **中国セグメント**：メロベン(△4)を下方修正、減収減益

参考資料

主要製品売上収益（日本セグメント）



金額単位：億円

	2020年度 10/28予想	2020年度 修正予想	増減額
エクア・エクメット	405	405	—
トルリシティ *	366	338	△28
トレリーフ	170	170	—
リブレガル	137	137	—
メトグルコ	88	92	4
アムビゾーム	40	37	△3
ラツータ	22	22	—
ロナセンテブ	25	12	△13
プロモーション品計	1,253	1,213	△40
アムロジン	61	64	3
シュアポスト	35	40	5
AG品	72	77	5
その他差額	112	118	6
合計	1,533	1,512	△21

- COVID-19の影響を受けたトルリシティ、ロナセンテブなどを下方修正

- 3Qまでの進捗から、長期収載品を上方修正

(注) 上記の各品目別の売上高は、仕切価ベースで記載（*トルリシティのみ薬価ベース）

参考資料

主要製品売上収益（北米・中国セグメント）



	2020年度 10/28予想	2020年度 修正予想	増減額	2020年度 10/28予想	2020年度 修正予想	増減額
北米セグメント	百万ドル			億円		
ラツータ	1,843	1,963	120	1,990	2,081	91
プロバナ	275	280	5	297	297	—
アプティオム	228	234	6	246	248	2
ロンハラ マグネア	28	19	△9	30	20	△10
ソベネックス	43	40	△3	46	42	△4
キンモビ	10	10	—	11	11	—
サノピオン品目その他	55	66	11	61	72	11
スミトバント	37	60	23	40	64	24
合計	2,519	2,672	153	2,721	2,832	111
中国セグメント	百万元			億円		
メロベン	1,452	1,426	△26	225	221	△4
その他	335	335	—	52	52	—
合計	1,787	1,761	△26	277	273	△4

- 北米セグメント：円高による54億円の減収影響があるが増額修正

- ・ ラツータを上方修正
- ・ ロンハラ マグネアは進捗を踏まえ下方修正
- ・ スミトバントはファイザー社との提携対価の一部（23億円*）およびオルゴピクスの売上を追加

- 中国セグメント：足元の進捗からメロベンを下方修正

*ファイザー社から受領した契約一時金は一部のコストを差引いた後、6年間にわたり繰延べ収益計上

【為替レート】
2020年度従来予想：1\$=108.0円 1円=15.5円
2020年度修正予想：1\$=106.0円 1円=15.5円